



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月13日

上場会社名 株式会社メニコン 上場取引所 東・名  
 コード番号 7780 URL <https://www.menicon.co.jp>  
 代表者(役職名) 代表執行役社長 COO (氏名) 川浦 康嗣  
 問合せ先責任者(役職名) 執行役 経営統括本部長 (氏名) 渡邊 基成 (TEL) (052) 935-1515 (代表)  
 四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2024年3月期第3四半期	87,401	6.0	7,529	△28.9	7,269	△30.2	4,576	△33.3
2023年3月期第3四半期	82,463	10.4	10,585	31.7	10,411	28.6	6,858	28.0

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 6,823百万円(△14.6%) 2023年3月期第3四半期 7,987百万円(37.9%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年3月期第3四半期	60.16		55.57	
2023年3月期第3四半期	90.44		83.45	

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2024年3月期第3四半期	173,798	80,226	44.8
2023年3月期	152,522	74,665	47.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 77,865百万円 2023年3月期 72,460百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00	
2024年3月期	—	0.00	—			
2024年3月期(予想)				25.00	25.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円	
通期	116,000	5.3	10,500	△13.0	10,300	△12.4	6,000	△18.7	78.85	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期3Q	76,624,388株	2023年3月期	76,527,888株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	457,733株	2023年3月期	553,319株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期3Q	76,072,555株	2023年3月期3Q	75,836,080株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託 (従業員持株会処分型)」が保有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、中期経営計画「Vision2030」を策定し、「新しい「みる」を世界に」のスローガンのもと、「海外売上高の拡大」、「1日使い捨てコンタクトレンズの販売拡大」、「メルスプランの更なる拡大」、「ヘルスケア・ライフケア事業の拡大」の実現に向けた成長戦略を推進しております。

1日使い捨てコンタクトレンズにつきましては、国内外で伸長する需要に対応するべく、各務原工場において「1 DAYメニコン プレミオ」の新たな生産ラインの稼働を開始いたしました。また、供給量の増加に向けた取り組みとして、Menicon Singaporeでの「Magic」の生産ラインの追加、並びに将来の生産量確保のためのMenicon Malaysiaでの新工場建設に係る設備投資を継続して実施してまいります。

各事業の状況は、以下のとおりです。

#### [国内ビジョンケア事業]

国内コンタクトレンズ市場は、近視人口の増加や行動制限の緩和に伴う外出機会の増加等を背景に需要が伸長しております。特に、毎日のケアが不要で利便性に優れている1日使い捨てコンタクトレンズや、コンタクトレンズ使用者の年齢層の拡大により遠近両用コンタクトレンズの需要が拡大しております。

国内ビジョンケア事業では、1日使い捨てコンタクトレンズのシェア拡大、メルスプラン会員数の拡大及び顧客のロイヤルカスタマー化を方針として活動しております。

メルスプランにおきましては、シリコーンハイドロゲル素材を採用した1ヵ月交換コンタクトレンズ「1 MONTHメニコン MeIsME」「1 MONTHメニコン MeIsME トーリック（乱視用）」をメルスプラン専売商品として販売を開始いたしました。また、会員様からのご紹介によりメルスプランへの新規入会を促す紹介キャンペーンや、プラスチック使用量が少なく環境に配慮した1日使い捨てコンタクトレンズ「Magic」の若年層をターゲットとしたプロモーション活動、並びにメルスプラン取り扱い店舗数の拡大を実施し、新規入会の促進に努めました。

また、ケア用品におきましては、過酸化水素タイプのソフトコンタクトレンズ用消毒剤「エピカ スマートクリーン」の販売を開始し、堅調に販売が推移しております。過酸化水素タイプの消毒剤は市場における使用割合が年々高まっており今後も成長が期待されるため、当社ケア用品の主力製品のひとつとしてより一層の販売拡大に努めてまいります。

#### [海外ビジョンケア事業]

海外コンタクトレンズ市場は、世界的なインフレの長期化、景気動向並びにサプライチェーンの不安定化の影響を受けながらも、市場全体での需要は拡大しております。

海外ビジョンケア事業では、中期経営計画「Vision2030」における「海外売上高の拡大」の事業方針のもと、地域ごとに異なるニーズに適した企業活動により、成長戦略を推し進めております。

中国では、新型コロナウイルス感染症の影響緩和に伴い、オルソケラトロジーレンズ及びケア用品を含むコンタクトレンズ関連商品の消費も回復傾向にあります。景気停滞の影響により市場の成長が緩やかになっております。同地域では、競合他社も増加しつつある競争環境のもと、オルソケラトロジーレンズとケア用品の販売強化を主な方針とし、営業体制の強化や主要都市において医療関係者や販売代理店向けの新製品発表会を開催する等、販売拡大に向けた取り組みを進めております。

欧州及び北米では、コンタクトレンズ及びケア用品の需要は拡大が継続しております。同地域では、販売チャネルの新規開拓及び関係強化を推進し、大手量販チェーンに対してプライベートブランドの導入や他社商品からの切替促進企画を実施する等、ディスプレイコンタクトレンズ並びにケア用品の販売拡大に取り組みました。

#### [その他]

ヘルスケア・ライフケア事業では、五感を通じて人々の健康サポートや喜びを創出する新領域への挑戦を方針として活動しております。

食品ビジネス並びに堆肥化関連ビジネスにおいては海外を中心とした販路拡大に取り組みました。動物医療ビジネスにおいては、犬・猫用サプリメントの販路拡大を目的として動物病院や動物医薬品卸業者への販売に加えて、一般消費者向けセグメントでの販売を開始しました。また、サプリメントビジネスにおいては、フェムテック関連をはじめとするライフサポート領域に注力した新製品を追加する等、積極的な拡販に努めました。

このような取り組みの結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりです。

売上高は、主に欧州及び北米を中心とした海外での販売が堅調に推移したことにより87,401百万円（前年同四半期比6.0%増）となりました。営業利益は、新工場の稼働準備や新製品開発強化及びグローバルでの人的補強を含む販売体制強化のための投資費用の増加等により7,529百万円（前年同四半期比28.9%減）、経常利益は、支払利息及び社債発行費の増加等により7,269百万円（前年同四半期比30.2%減）となりました。以上の要因により、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,576百万円（前年同四半期比33.3%減）となりました。これら投資費用の増加は、当社グループの「Vision2030」の実現と長期的な競争力の強化に資するものであります。

セグメントの業績は以下のとおりです。

#### ①ビジョンケア事業

ビジョンケア事業の売上高は80,126百万円（前年同四半期比4.5%増）、セグメント利益は12,189百万円（前年同四半期比15.1%減）となりました。詳細は以下のとおりです。

ビジョンケア事業の売上高は前年同四半期と比較して3,432百万円増加いたしました。海外売上高は、主に欧州及び北米でのディスプレイコンタクトレンズ及びケア用品の販売が堅調に推移したことにより、2,232百万円増加しております。国内売上高は、主にメルスプランにおいて平均顧客単価の高い1日使い捨てコンタクトレンズの会員数が伸長したことにより、1,199百万円増加しております。

セグメント利益につきましては、主に新工場の稼働準備や新製品開発強化及びグローバルでの人的補強を含む販売体制強化のための投資費用の増加等により、前年同四半期と比較して2,176百万円減少しております。

#### ②その他

その他の事業は、主に食品ビジネスの海外販売が増加し、売上高は7,274百万円（前年同四半期比26.1%増）となりました。セグメント損失は595百万円（前年同四半期セグメント損失は514百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末において総資産は173,798百万円となり、前連結会計年度末に比べ21,275百万円の増加となりました。流動資産は、主に社債の発行により現金及び預金が増加したことから、8,526百万円増加し86,227百万円となりました。また、固定資産は、主にMenicon Malaysiaにおける1日使い捨てコンタクトレンズの製造工場建設に係る設備投資により、12,748百万円増加し87,570百万円となりました。

### (負債及び純資産の部)

負債は主に社債の発行により、前連結会計年度末に比べ15,714百万円増加し93,571百万円となりました。

純資産は主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や、円安による在外子会社に係る為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ5,560百万円増加し80,226百万円となりました。

この結果、自己資本比率は44.8%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間までの業績につきましては、中国におけるオルソケラトロジー関連製品の販売は景気停滞の影響を受けましたが、欧州・北米地域におけるディスプレイコンタクトレンズ及びケア用品の販売が堅調だったため、売上高および売上総利益は概ね想定通りに推移しております。一方で、グローバルでの人的補強を含む販売体制強化や新型コロナウイルス感染症の収束による営業活動の正常化に伴い、販売費及び一般管理費が増加いたしました。加えて、国内の価格改定への対応費用等の一時的な費用が発生いたしました。そのため、想定よりも多く費用を使用したことにより、営業利益以下の各段階利益は前回発表予想に対して進捗率が低く推移しております。

第4四半期連結会計期間においては、中国において景気停滞の影響が継続することを想定しているものの、欧州・北米地域におけるディスプレイコンタクトレンズ及びケア用品は販売が堅調に推移すること、国内の価格改定が順次進捗することで売上総利益率の改善が見込まれます。しかしながら、販売費及び一般管理費としてグローバルでの販売体制強化等の将来の成長に向けた取り組みや、株式給付信託終了に伴う債務保証損失引当金繰入額の特別損失の計上可能性を見込むことにより、営業利益以下各段階利益は前回発表予想を下回ることが想定されます。

以上を勘案し、2023年5月15日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたします。当連結業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2024年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	116,000	12,300	12,000	7,600	99.89
今回発表予想(B)	116,000	10,500	10,300	6,000	78.85
増減額(B-A)	0	△1,800	△1,700	△1,600	—
増減率(%)	0%	△14.6%	△14.2%	△21.1%	—
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	110,194	12,062	11,755	7,377	97.25

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	41,249	47,163
受取手形及び売掛金	12,411	14,400
有価証券	36	18
商品及び製品	12,746	12,869
仕掛品	1,267	1,518
原材料及び貯蔵品	3,404	3,957
その他	6,746	6,433
貸倒引当金	△161	△133
流動資産合計	77,701	86,227
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,137	32,298
減価償却累計額	△12,796	△13,826
建物及び構築物(純額)	15,340	18,471
機械装置及び運搬具	29,599	32,940
減価償却累計額	△19,275	△21,041
機械装置及び運搬具(純額)	10,324	11,899
工具、器具及び備品	10,367	11,197
減価償却累計額	△8,707	△9,243
工具、器具及び備品(純額)	1,659	1,954
土地	4,996	4,849
リース資産	2,217	2,220
減価償却累計額	△742	△908
リース資産(純額)	1,474	1,312
使用権資産	7,110	7,660
減価償却累計額	△2,973	△3,764
使用権資産(純額)	4,136	3,896
建設仮勘定	19,163	27,939
その他	46	46
減価償却累計額	-	-
その他(純額)	46	46
有形固定資産合計	57,143	70,369
無形固定資産		
のれん	2,368	2,110
特許権	357	291
その他	8,744	8,548
無形固定資産合計	11,470	10,950
投資その他の資産		
投資有価証券	499	625
繰延税金資産	2,567	2,352
その他	3,140	3,273
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	6,207	6,250
固定資産合計	74,821	87,570
資産合計	152,522	173,798

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,609	6,649
短期借入金	126	194
1年内償還予定の社債	726	166
1年内返済予定の長期借入金	1,488	1,327
リース債務	1,301	1,364
未払金	5,517	4,557
未払法人税等	1,506	780
賞与引当金	1,967	1,147
ポイント引当金	24	23
その他	6,084	5,849
流動負債合計	24,352	22,062
固定負債		
社債	16,500	36,333
転換社債型新株予約権付社債	22,936	22,962
長期借入金	5,936	4,562
リース債務	4,566	4,098
長期末払金	1,232	1,175
退職給付に係る負債	720	779
繰延税金負債	1,258	1,290
資産除去債務	115	109
その他	236	198
固定負債合計	53,503	71,509
負債合計	77,856	93,571
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,487	5,517
資本剰余金	7,275	7,305
利益剰余金	58,127	60,800
自己株式	△919	△491
株主資本合計	69,971	73,131
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	122	219
為替換算調整勘定	2,366	4,513
その他の包括利益累計額合計	2,489	4,733
新株予約権	2,153	2,307
非支配株主持分	52	54
純資産合計	74,665	80,226
負債純資産合計	152,522	173,798



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	82,463	87,401
売上原価	38,091	41,563
売上総利益	44,372	45,837
販売費及び一般管理費	33,786	38,308
営業利益	10,585	7,529
営業外収益		
受取利息	24	53
受取配当金	12	14
為替差益	-	63
助成金収入	32	33
その他	245	192
営業外収益合計	314	357
営業外費用		
支払利息	274	425
社債発行費	79	101
持分法による投資損失	10	15
為替差損	87	-
その他	36	74
営業外費用合計	488	617
経常利益	10,411	7,269
特別利益		
固定資産売却益	3	99
特別利益合計	3	99
特別損失		
固定資産除却損	43	27
その他	1	0
特別損失合計	45	27
税金等調整前四半期純利益	10,369	7,341
法人税、住民税及び事業税	3,003	2,596
法人税等調整額	504	166
法人税等合計	3,508	2,763
四半期純利益	6,860	4,578
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,858	4,576

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	6,860	4,578
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51	97
為替換算調整勘定	1,044	2,145
持分法適用会社に対する持分相当額	31	1
その他の包括利益合計	1,126	2,244
四半期包括利益	7,987	6,823
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,985	6,820
非支配株主に係る四半期包括利益	2	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、従業員の福利厚生増進及び当社の企業価値向上に係るインセンティブの付与を目的として、従業員持株会に信託を通じて自社の株式を交付する取引を行っております。

1. 取引の概要

当社は、2021年9月より「株式給付信託（従業員持株会処分型）」（以下、「本制度」といいます。）を導入しております。

本制度の導入にあたり、当社は、当社を委託者、みずほ信託銀行株式会社を受託者とする「株式給付信託（従業員持株会処分型）契約書」（以下、「本信託契約」といいます。）を締結いたしました（本信託契約に基づいて設定される信託を「本信託」といいます。）。また、みずほ信託銀行株式会社は株式会社日本カストディ銀行との間で、株式会社日本カストディ銀行を再信託受託者として有価証券等の信託財産の管理を再信託する契約を締結しております。

株式会社日本カストディ銀行は、信託E口において、信託設定後5年間にわたり「メニコングループ社員持株会」（以下、「持株会」といいます。）が購入することが見込まれる数に相当する当社株式を予め一括して取得し、以後、持株会の株式購入に際して当社株式を売却していきます。信託E口による持株会への当社株式の売却を通じて、信託終了時までには、本信託の信託財産内に株式売却益相当額が累積した場合には、かかる金銭を残余財産として、受益者適格要件を充足する持株会加入者（従業員）に分配いたします。

他方、当社は、信託E口が当社株式を取得するための借入に際し保証をするため、当社株価の下落等により、信託終了時において、株式売却損相当額の借入残債がある場合には、保証契約に基づき当社が当該残債を弁済することとなります。

2. 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度595百万円、133千株、当第3四半期連結会計期間167百万円、37千株であります。

3. 総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

前連結会計年度803百万円、当第3四半期連結会計期間586百万円

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	ビジョンケア事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	76,693	76,693	5,769	82,463
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	76,693	76,693	5,769	82,463
セグメント利益 又は損失(△)	14,365	14,365	△514	13,851

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、ヘルスケア・ライフケア事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	14,365
「その他」の区分の損失(△)	△514
全社費用(注)	△3,265
四半期連結損益計算書の営業利益	10,585

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	ビジョンケア事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	80,126	80,126	7,274	87,401
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	80,126	80,126	7,274	87,401
セグメント利益 又は損失(△)	12,189	12,189	△595	11,593

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、ヘルスケア・ライフケア事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	12,189
「その他」の区分の損失(△)	△595
全社費用(注)	△4,064
四半期連結損益計算書の営業利益	7,529

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。